

# マツウオーキング～石川池周辺を歩く～

橿原市運動普及推進員協議会

## ①近鉄橿原神宮



## ②丈六(軽の巷)

飛鳥時代、「軽」と呼ばれ、南北に貫く下ツ道と東西の山田道が交わる交通の要衝。市は朝廷が必要とする物資の調達や都人が物資を売買する場であった。



## ③春日神社(軽島豊明宮跡)

大軽集落のほぼ中心に東面して鎮座し、天児屋根命を祀る。境内に「応神天皇軽島豊明宮跡」の伝承碑と万葉歌碑があり、隣接して法輪寺。



## ④法輪寺(軽寺跡)

『日本書紀』朱鳥元年(686年)8月の条に「桧隈寺軽寺大産寺各封百戸限三十年」(桧隈寺期限として寄進する)と、封戸百戸が施入された記録が残る。出土瓦から飛鳥・藤原京時代。

徒歩約1時間30分8000歩3.5kmのコース

- ①神宮東口→(5分) ②丈六→(15分) ③春日神社④法輪寺→(25分)  
⑤本明寺→(5分) ⑥石川池→(10分) ⑦大蔵神社→(10分)

## ⑤本明寺(石川精舎跡)



蘇我馬子が作った仏殿が「石川精舎」。本明寺は石川精舎の跡に建てたと伝えられ、境内に土垣が残り、巨大な五輪塔(南北朝時代)がある。蘇我馬子の塔と伝えられ、高さ2.3m。鎌倉時代の石塔。本堂は入母屋造で三間四面で庫裡に接続している。五輪塔は、もとは久米町イモアライ地藏境内にあったといわれ、越智氏の先祖を守るために置いてあったものを移したと言われている。

## ⑤石川池(剣池)



池の畔に天武天皇の娘で、紀皇女の万葉歌碑があり、『日本書紀』には、地中の蓮に1本の茎に2つの花が咲いているのが見つかリ、蘇我氏の繁栄を予告するものとして喜ばれたことが残っている。石川池(剣池)のほとりに第8代孝元天皇の御陵、剣池島上陵。日本書紀によると孝元天皇の名は、大日本根子彦国牽尊、父は第7代孝霊(こうれい)天皇。

## ⑧大蔵神社



応神天皇が造ったとされる「剣池」の北側に鎮座、孝元天皇 劔池嶋上陵も池の東側。こんもりとした丘の上に建てられ、御神体は紙幣であるようだ。祭神は大蔵神と保食神(宇賀之御魂神と同神か)の兄弟神なのか、大蔵神と大山咋神の親子神なのかははっきりとはしないものの、開拓の成果と弥栄を祈った社のように思われる。

## ⑧和田廃寺



「大野塚土壇」は敏達14年(585年)蘇我馬子によって建てられた「大野丘北塔」とされてきたが、最近では聖徳太子建立の七大寺の一つである「葛木寺(葛木尼寺)」と考えられるようになっている。